

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1.理念に基づく運営</b>				
1.理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく生活されることを支援、また入居者だけでなくご家族、地域の方とも笑顔の絶えない施設である。」という理念のもとに職員全員努力している。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会社の理念、事業所の理念を玄関に掲示し、いつでも誰でも見れるようにし、その人らしく生活されることを念頭に業務を行なっている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居契約時、懇談会、運営推進会議において説明させていただいている。		
2.地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物など又、事業所の行事(もちつき等)で挨拶を交わしたり案内をしている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、広報を回していただいている。町内清掃に支障の無い範囲で参加している。		町内行事(老人会など)に参加したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>施設の見学、実習生・研修生・百道中学校の職場体験の受け入れを行なっている。知人からの相談に応じている。</p>		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価表は、職員全員で確認し合いながら作成している。また、昨年指摘された運営推進会議の開催はその後、2ヵ月に一回行っている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>御家族・町内の方からの意見を参考にしている。火災 避難訓練にアドバイスを頂き実践できた。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の時に、包括支援センターの方が毎回参加して下さっており、その時に情報交換を行っている。その他はまだ取り組んでいません。</p>		<p>今以上に行き帰する機会を作っていけるようにしたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>リーガルサポート福岡県支部の研修会に参加。現在この制度を利用されている方はおられないが、公的文書にサインできない方に対して御家族と相談したことがある。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>1回/3ヶ月、内部で研修会を行なっている。縛る等の身体的虐待だけでなく、精神的な虐待についても見過ごさないよう努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には書面・口頭をもって納得して頂けるまで説明している。入居後の質問にも、事業所では判断できないことであれば、本部にも問い合わせするなどして説明している。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の言動からその思いを汲み取り、その人らしく生活できるような運営に努めている。また、運営推進会議にも出席して頂き、ご意見を頂いている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ふれあい通信」を発行。健康状態・生活状況を写真を入れて報告し、職員の異動等についても一緒に報告させて頂いている。お小遣いの出し入れも出費明細書にて毎月報告。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱・パンフを置いている。食事内容・レクリエーションに関する意見を頂き改善できたことがある。日頃より、来られた際や、運営推進会議や家族懇談会にてご意見を頂いている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ふれあい会全体で施設長会議・各担当者会議、事業所内ミーティングを行っている。職員の意見・入居者の思いを業務に反映させることに努めている。</p>		職員個々と何でも話せる職場作りを目指す。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>通院介助・個別レクリエーションなどに勤務を調整して対応している。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動・離職を最小限に抑えるよう努めているが、必要な場合はきちんと説明している。御家族から質問があった時も、説明させていただいている。新しく採用された場合も御家族・入居者ともに説明している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用にあたっては性別・年齢等制限してません。本部での面接後本人の希望・人柄を拝見しその方にあった施設への紹介をし、その施設の管理者と再度面接、採用を決定しています。休みの希望は可能な限り調整しています。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>ふれあい会全体の研修で、利用者お1人お1人に対して、その方の思いを尊重した援助を行うことができるよう、どのような気持ちで向き合っていくかについて、自分自身で振り返る機会を持ち、新たな気持ちで取り組めるような研修を行いました。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員の資格取得の為、勉強会を持っている。参加する職員のシフトを調節している。外部研修の受講費の支援がされている。また、新規採用や異動時には、プリセプターシップを導入し、先輩スタッフが担当として付き、指導や相談相手になっている。その他、ケアプラン勉強会も行っている。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設と電話やメール等で、問題点等を質問し合い、サービスの向上に努めている。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休日の希望について可能な限り調整している。懇親会を時々外で行なっている。年に2回、個人面接を行い意見を言う聞く機会を作っている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>個々のアイデアを尊重し、運営に直結する事は実行してもらっている。研修の受講の促しや、研修費負担をしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前には必ず事前訪問を行い、御本人、御家族から話を聞き、ご本人のこれまでの暮らしの継続に努めています。また、環境の変化への不安を少しでも解消できるように、数回事前にお会いすることで、顔なじみになれるように努めています。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居時には御家族にも来ていただき不安なこと、ホームに対する希望や要望など詳しくお聞きする様にしている。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御本人・家族の状態をきちんとお聞きし、必要に応じたサービスの紹介や御本人に合った雰囲気施設の紹介をさせて頂いています。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居を3泊4日していただいている。今まで使用されていた家具・寝具・食器やアルバムなど持参して頂き、家具の配置等も出来る限りこれまでと同じにすること等、落ち着いていただけるよう工夫している。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>できる範囲の家事を手伝っていただいたり、一緒にゲームをしていただいている。ベランダ菜園作りを支援し、出来たものを食事に利用している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に一緒におやつを食べていただいたり、御家族からの提案をともに考えている。ふれあい通信や電話で、御家族をともに支えることを大事にしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	気遣いなく面会に来ていただけるよう話をしたり、必要な居室やリビング等、その時の状況に合った場所でお話をして頂いている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	どなたでも面会を断ることなく受け入れている。昔のお弟子さんや町内の方が来てくださる。郵便物などはそのままご本人にお渡ししている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わら合い、支え合えるよう努めている	気の合わない同士もおられるので、間に入り二人・三人で散歩に行き会話できるように努めている。又、上のフロアとも行き来をしている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	亡くなられた方への初盆のお参りに行かせて頂きお話を聞きすることが出来た。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話や行動の中から意向を汲み取る努力をしている。また、御家族からも情報を頂くよう努めている意思疎通が困難な方とはしっかり関わりを持ち、把握に努めている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時の資料を参考にしたり アセスメントで把握に努める。また、御家族からも話を聞くようにしている。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>台所手伝いの好きな方、疲れやすい方、生け花の得意な方など把握に努め、楽しく日常生活が送っていただけるよう努めている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員間のミーティング、又御本人、御家族、主治医の意見も頂き反映したケアプランを作成している。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>退院後には本人、関係者と話し合っ作成したり、定期的に見直しを行なっている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し 情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のファイルにはケアプランの状況 記録は職員全員が記載。本人との会話や思いも記載するようになっている。口頭の申し送り連絡帳の確認を毎日行っている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	2ユニット、デイサービス、高齢者住居が併設されていることで、多くの入居者、利用者との交流ができている。月1回合同おやつ会を開催している。ご家族が都合が悪い時には、受診の付添も行っている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化 教育機関等と協力しながら支援している	緊急時には地域の方の協力を得ることができる態勢を作った。百道中校の職場体験学習の受け入れを行っている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理美容 訪問マッサージを受け入れることを支援している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席して頂き、協同することを約束している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診 緊急時には主治医だけでなく、看護師とも連携し支援している。必要時は他科病院を紹介して頂き受診の支援もしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が認知症に知見が深いので、定期往診で適宜指示や助言を受けています。症状が重篤になった際は、主治医が指導を受けた医師に受診している。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医だけでなく看護師との連携を持ち必要な時には訪問してもらっている。気軽に相談できる関係が出来ている。日々の健康管理の為に測定している体温、血圧、脈拍等についても、主治医・看護師にFAXにて報告している。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	長期の入院は寝たきりになる可能性が大きいので、御家族や、関係者と相談して、早期退院に努めている。		入院されている時にはお見舞いに行き、病院から説明を聞いたりし、早期退院に努めている。
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、御家族と終末期のあり方について希望・要望を聞き取っている。必要に応じて、主治医・職員・本部で情報を共有している。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本部の助言を受けながら、主治医のもとに職員一致して支援できる。		家族・主治医と相談・職員とも相談し可能なら事業所での看取り先も取り組みたい。
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	当事業所での生活の様子などの情報を提供している。必要なら職員が訪問する。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報守秘義務は退職後も確認している。内部研修・ミーティングにおいて、自己検索に努めている。記録等は外から見えにくい棚に納めている。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた！納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>繰り返しの説明・聞き取り会話を重視し、本人の思いを見逃さないように努めている。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>遅くまで寝ない方、食事を食べたくない方、心身の状態を確認した上で、その方のペースを守っていただけるよう努めている。</p>	<p>職員のシフト優先になることがあるので、できるだけ御本人のペースに合わせることに努めたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>御本人家族の希望に添えるよう努めている。現在全員の方が訪問理美容で満足されている。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>キッチンでの調理手伝い、食卓椅子でできる、食器拭きなど行なっている。「食べたいものは？」と料理本を見ながら一緒に考えることがある。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲酒の要望のある方には主治医の指示に従い飲んでいただいている。コーヒーもホットの方・アイスの方希望を大切にしている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	昼間はパット・オムツの利用を少なくし、排泄表を参考に声掛け誘導を行なっている。夜間はパット利用でゆっくり眠りたいとの希望がある方には使用し、パット交換を適宜行なっている。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を優先しているが、失便時など声掛けを工夫し、入浴して頂いている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間眠りの浅い方には昼寝を進めている。日中の活動を促し夜間の要眠に繋がるように努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	台所仕事の好きな方、体操の好きな方、菜園作りの好きな方、百人一首 生け花の得意な方。各自の楽しみを支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額の現金を自室に持っておられる。販売に来るヤクルトを購入したり、買い物に同行し、菓子等を購入することを支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の要望はもちろん、天気などを見て散歩や買い物などをお誘いするよう努めている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	誕生日会などを利用して、寿司屋などに行く。2・3人で車にて買い物、遠くの海に釣りなど(年に一回くらい)行くことなどを支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	ダイヤルをプッシュしたり言葉が出ない時には代わって話させていただくこともある。はがき等の投函を頼まれる。年賀状を出したい方には支援した。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	概ね2時ごろまでの訪問は受け付けている。リビングや居室で歓談していただいている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1回/3ヵ月、内部研修を行い、身体的だけでなく、精神的な拘束を行わないことを心掛けている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中職員の手薄な時に玄関を開けられる方がいるので、玄関にはチャイムを取り付けているが、状況に合わせて支援している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	転倒の危険のある方の居室に、センサーを取り付け、行動されたかどうかわかるようにしている。いきなりその行動を止めるのではなく、始めは見守り、状況に応じて声掛けなど行なっている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミの使用や爪切りなどできる方には見守りを行いご自分で使用していただいている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	69に同じように転倒防止の為にセンサーを設置。内服薬のセットは必ず二人で確認。内服していただく時に職員は、内服薬の袋の名前、入居者様の名前を声に出すこととしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し周知徹底をしている。救命救急講習を全員が受ける予定。本年は現在三名が終了。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年二回行なう。法務省の宿舎の方や町内会の方々が協力を承諾してくださっている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時に説明している。身体機能低下時には面会や電話にて随時説明を行なっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックとともに顔色や様子を看ることに努め、申し送り連絡ノートに記載、確認している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している薬は個別記録にファイルしている。薬剤が届いた時、夜勤者が確認、変化がある時は個別カルテへ記載し、口頭で申し送り、連絡ノートに記載、確認している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個別記録、熱計表に排便の有無を記載している。牛乳やヨーグルトを摂っていただいている。本人にも納得して頂き散歩、体操を随時行っている。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医師の指示によって個別に対応。食後の口腔ケアを毎回行っている。 1回/週訪問歯科による、口腔ケアと指導を受けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	通常の食事を摂られない方に対して、主治医の指示によりエンシュアを飲んで頂く。お茶でなければ、ヤクルトや牛乳を勧めている。必要な方には水分摂取量を記録して支援している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年10月。インフルエンザ予防接種を、入居者、職員全員が受けている。 外出から戻ったら手洗いうがいを実行している。調理に係わる時は石鹸などでの手洗いを実行している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夜勤帯において、まな板、布巾の消毒を行い、食品の賞味期限などのチェックをしている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には手すり、ベンチを置き、安全に配慮。また花を飾るなどしている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、花や絵を飾ったり、入居者の方に説明し、夜間はリビングの明かりを小さくし、テレビの音量を下げて頂くことができています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールにソファを置き、一人の昼寝の場所になったり職員との1対1の会話の場になっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅から、使い慣れたものを持参されている。御家族の写真を飾っていただいている。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	尿失禁等ある方の居室は特に換気に注意を払っている。食事リビングにおられる時に窓を開けたりしている。寒がり暑がり各々に合わせてエアコンを利用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室・居室に手すりをつけている。一人歩行ができる方は手すりを握って頂き自由に歩いて頂くが、転倒予防の為、環境整備を行なっている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	言葉の説明の他、文字で表したりしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう活かしている	ベランダで菜園作りを楽しんで頂いたり、天気の良い日は、椅子を出して日向ぼっこをしている。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)